

■ 研究課題名

4 腸管出血性大腸菌の分子疫学解析・データベース化および病原性に関する研究

■ 研究の概要

腸管出血性大腸菌を原因とする食中毒・感染症は、都内では年間400名を超える感染者が報告されている。この多くは散発患者として届けられているが、共通の感染源（食品）によって引き起こされた散発的集団発生であることも少なくない。このような散発的集団発生を早期に発見し、感染拡大防止と感染源の特定のためには、臨床材料および食品から分離された菌株の分子疫学解析が有効な手段と考えられている。本研究では、MLVA法の検討と菌株間の識別能等の基礎データを得ることを目的として既存の方法との比較検討を実施する。更に収集した菌株について詳細に病原因子等の解析を実施しMLVA法による解析結果と合わせることで、散発的集団発生時における早期発見のためのデータベースの構築を目的とする。

■ 研究期間

平成30年度から令和2年度まで

■ 研究機関の名称及び研究機関の長

東京都健康安全研究センター 所長 大井 洋

■ 研究責任者の氏名

微生物部食品微生物研究科

小西 典子

■ オプトアウト

「保有個人データの研究使用の停止申請」により当研究から除外が可能である。